

News of Peace No.2

発行：桜区平和を考える会 2016年6月4日

● 参議院選挙は平和と民主主義を守るために重要な選挙です

憲法が、今年もノーベル平和賞に三年連続でノミネートされました。世界の人々に日本国憲法が高く評価されていることを示しています。ところが、安倍首相は大災害やテロ対策を口実に「緊急事態条項を憲法に加える」と表明。危険な改憲の道を進めようとしています。この間も、東日本大震災、原発事故による放射能汚染、熊本地震、対テロ対策などをもっともらしく緊急事態条項導入の理由に挙げていますが、改憲の突破口に利用しようという狙いは明らかなです。9条改憲では敷居が高いので、まずは緊急事態条項からというお試し改憲の手口なのです。

● 安倍首相のうそに2回はだまされない

6月1日（水）午後6時より安倍首相は記者会見を行い、消費税の値上げを2年半繰り延べるとし、政策の変更なので、選挙で皆さんの信を問いたいと表明。参議院選挙を経済政策について問う選挙と位置づけました。先の衆議院選挙を思い出してください。あの時も消費税の値上げについて信を問う選挙と位置づけました。しかし、その結果を受けて実行したのは、秘密保護法であり、安保関連法です。今回もまた同じ手で争点隠しに出ました。安倍首相の狙いは改憲です。参議院選挙で3分の2以上の議席を獲得して、やろうとしていることはただひとつ憲法改悪です。緊急事態条項を突破口に9条を変え、自衛隊を国防軍と位置づけ、憲法解釈の変更によらずに戦争をできる国にしようとしているのです。延期された自衛隊の駆けつけ警護は、参議院選挙で与党が勝てば再考の余地もなく命令が下り、自衛隊は初めて任務として「戦闘」（殺し、殺される）に係わることになるはずで。

7月の参議院選挙は、平和と民主主義を守る重要な選挙です。安倍政権は自民党の政権ですが、自分たちの意にそぐわない内閣法制局長官を退任させ、思い通りになる長官を任命して、これまでの自民党歴代内閣とは全く異なる憲法解釈で、集団的自衛権の行使容認を閣議決定しました。かつての自民党政権では決して行うことのない強引な手法であり、明らかに自民党政権としても変質しています。これまで自民党を指示してきた人たちにも今回ばかりは、戦後70年間、平和を守ってきた平和憲法を守る側に立ってもらいたいと思います。

『あれから五年 福島からの避難者は今』

——レイバーネットTVダイジェスト版の紹介

レイバーネットTVオープンチャンネルで2月24日、ふるさとの現状を語る福島からの避難者2人のインタビュー番組が放送されました。キャスターは桜区に住む『原発の町を追われて』の監督・堀切さとみさん。「ダイジェスト版」はこの番組（1時間25分）を30分に編集したものです。

この番組は「東京電力福島第一原発が起こした事故はあまりに大きく、その罪は5年で消えるものではありません」、という堀切さんの言葉から始まります。そして「これから、どんな影響が出てくるかわからない。長い長い歴史のスタートラインに立ったばかりです」と、避難者の言葉を受け止めながら番組は進みます。

未だスタートラインに立ったばかり——原発事故の影響

二人の避難者からは、これから向き合わなければならないこと、既に向き合わせられている様々な話が出てきます。

- ・「双葉町にはフレコンバックの一番放射線量の高いものが置かれる予定です。その中で、平成30年度から双葉町民を町に帰すという取り組みが始まるそうなのです。」
- ・「福島の野菜は売れないそうです。お米もそうです。売れないものは処分する。廃棄料がかかって困っていると言われます。それなのに国は野菜を作れ、米を作れという。その後の処分はどうするのかと思います。」
- ・「隣の人が賠償金をいくらもらったか計算するんです。顔を見るとお宅いくらもらったのかという話になる。何か買うと補償金いっぱいもらったからと、言われる。」
- ・「娘の中絶から始まり、死産が多いということを私が発信したら、デリケートな問題であるからとか、福島の復興のためにそういう事を言っても仕方ないとか、いろいろなところで言われたりしました。しかし、発信した時は、娘と同じ状態の人が（まわりに）4、5人だったのが、今では10人を超えたんですね。」

日本の政治の現状からみれば、避難者が悲惨な環境・状態に追い詰められているであろうことを想像出来ます。しかし、避難者が目の前のこととして具体的に話されるのを聞くと、その怒りと苦しみを改めてつきつけられ、向き合わなければならないという事を認識させられます。

インターネット上の映像ですが、ぜひご覧ください。もちろん本編の視聴もできます。「あれから五年 福島からの避難者は今 英語字幕つき」で、検索してください。
(小高真由美)

注）レイバーネットは、労働者運動の情報ネットワークウェブサイトです。

【切り抜き帳】（東京新聞）

・安全保障関連法（戦争法）に反対して行動する高校生らのグループ「T-ns SOWL」（ティーンズ・ソウル）： 夏の参院選までをめどに、原則的に毎週金曜日午後7時から国会前でデモを行っている。「T-ns SOWL」は高校生を中心に昨年7月に発足。月1回のペースでデモや勉強会などに取り組んでいる。参加者は「これまで日本は平和だったのに、わざわざ武器を持って国外に出る必要はない。自分たちの将来に漠然とした不安がある。若者の声が関心のない人にも届いてほしい」などと訴えている。

・海外メディアはサミットをどう見たか：主要国首脳会議（G7）で、安倍首相が示した「リーマンショック前に似ている」という世界経済の認識について海外メディアは痛烈に批判。

「消費税増税延期という国内事情のためにサミットを利用」（英フィナンシャル・タイムズ）「増税再延期の言い訳を探していた安倍首相の政治策略」（米ウォールストリート・ジャーナル）「首脳会議で配られた資料についても問題視されている。」

（米CNBCテレビ）IMFのガルド専務理事が世界経済は「08年のような危機ではない」とコメントしている。（米ワシントンポスト）



オレだって2回はだまされないぞ！

・沖縄琉球新報より（5/23～5/28）：沖縄県辺野古への新基地建設に反対する市民らは米軍キャンプ・シュワブのゲート前に座り込み、米軍関係車両の基地内への出入りを阻止。米軍属により女性殺害事件の発生を受け「若い命を返せ」「どれだけ抗議活動をして、怒りが納まらない。新基地は絶対作らせない」と声を荒らげた。県議選候補全員が「海兵隊撤退・縮小」を要求。

・福島甲状腺がん（疑い含む）受診者30万人中166名。北茨木市でも3593人中3人。これまでは100万人に対して1人か2人といわれている。

【会員からの情報】

- ・安保法制違憲訴訟：熊本・東京・茨城に続き埼玉は6月に提訴予定。
原告・賛同人募集中（連絡先：090-8588-4966 今井）

【会の活動報告】

〈映画上映会〉

○4月10日(日) 14時～ 土合公民館
『日本と原発』上映会 参加者25名、好評でした

〈署名活動〉

○4月 5日(火) 18時～ 中浦和駅
花冷えの寒い日でした。元自衛官の人が署名をし、のど飴を差し入れてくれました
○4月19日(火) 18時～ 南与野駅
熊本地震が4月14日・16日に起きたため、被災者への募金活動と鹿児島県の
川内原発停止を求める署名を行いました。この日に集まった署名は、九州の反原発
グループへ送りました。募金もすぐに現地に送りました。
○5月 3日(火) 18時～ 西浦和駅
祝日のため、乗降客が少なく、憲法記念日なのに署名も少なく、残念でした。
○5月19日(木) 18時～ 中浦和駅
署名数はちょっと少なめ、それでも高校生が署名をしてくれました。

【これからの予定】

〈学習会〉

○6月19日(日) 14時～ 土合公民館
アベノミクスを問う：生活者の視点から(仮)
講師：結城剛志氏(埼玉大学准教授)

〈署名活動〉(毎月2回 18時～)

○6月7日(火) 南与野駅、○6月19日(日) 西浦和駅
○7月5日(火) 中浦和駅、○7月19日(火) 南与野駅

〈定例会〉

○6月4日(土) 10時30分～ 栄和公民館
○7月2日(土) 10時30分～ 場所は追って連絡します
(皆さんの参加をお待ちしています。お気軽にご参加ください)

```

=====
" 【桜区平和を考える会につて】
"
"   安全保障関連法案(戦争法案) 制定反対の署名活動や桜区役所のギャラ
"   リーで原爆絵画展を行ったことなどをきっかけに、昨年12月に発足しまし
"   た。桜区に在住・在勤あるいは活動している市民の会です。
"
"=====

```

〔編集後記〕

- ・基地問題は、沖縄だけの問題ではありません。全国津々浦々から辺野古新基地建設反対、基地撤去、地位協定の見直し要求の声を上げていきましょう。
- ・参院選に向けて、32ある改選1人区で野党四党が進めてきた候補の一本化が完了しました。市民の力と各野党の努力がもたらした結果です。全員の当選を実現しましょう。
- ・6月19日(日)に学習会を企画しました。ご参加ください。

桜区平和を考える会発行

連絡先：090-8588-4966 (今井)

090-6120-3411 (佐藤)

090-4433-7092 (小高)